



ASEEDING THE FUTURE

人、地球、未来 — すべての笑顔と健康のために

人、地球、未来がもっと笑顔で健康になるために、その思いを込めた種をまき続け、実現に向けて貢献しながら、日々成長を遂げていくことを宣言します。

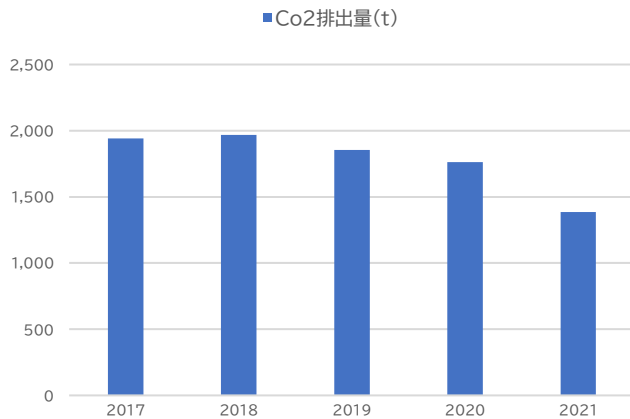
1. 飲料・食品を通じて、笑顔と潤いに溢れた健康的な生活シーンを提供します。
2. 生き生きと笑顔で働き、豊かで健康な人生を送ります。
3. 未来のために地球と調和した持続可能な成長を続けます。

アシードグループ環境方針

- ・環境に関連する法規制を遵守します。
- ・全ての事業活動において省資源・省エネルギーを推進し、環境汚染の予防に努めます。
- ・リサイクル及び廃棄物の減量に努め、循環型社会の形成に寄与します。
- ・事業活動で多く取り扱う「水」の品質確保、使用量の削減、排水の汚染防止を推進します。
- ・本方針を全従業員及び関係者に周知し、環境保全に対する教育、啓蒙活動を実施し、意識の高揚を図ります。

自販機運営リテール事業の取り組み

Co2排出量の削減(ガソリン・軽油)



ルート効率の改善による燃料使用量の削減により減少
2021年は新型コロナウイルス感染拡大による休業で大幅減少



アシード福山支店倉庫屋根へ太陽光パネルを設置し、自販機100台程度の消費電力を売電

・複数メーカーの自販機が並べて設置されている現状を見直し、複数メーカーの商品を取り扱う当社自販機1台に集約することで、消費電力の削減や景観に配慮



自販機集約のイメージ

- ・事務所や倉庫でLED照明への切り替え
- ・飲料を冷却する際に発生する熱や、外気の熱を利用して加熱に再利用するハイブリットヒートポンプ自販機を導入
- ・遠方にある自販機の管理は、設置場所近くのオペレーターに業務委託することで、走行距離の削減
- ・ルート担当者はフレックスタイム制を採用し、渋滞する時間帯を避けて作業を行うことで使用燃料の削減

その他事業の取り組み

食品リサイクル法に基づき、食品製造や加工過程で排出される食品残漬などを受け入れ、乾燥処理により固形燃料(ペレット)や、肥料として再生する事業を行っています。



飲料製造事業の取り組み

マテリアルフロー

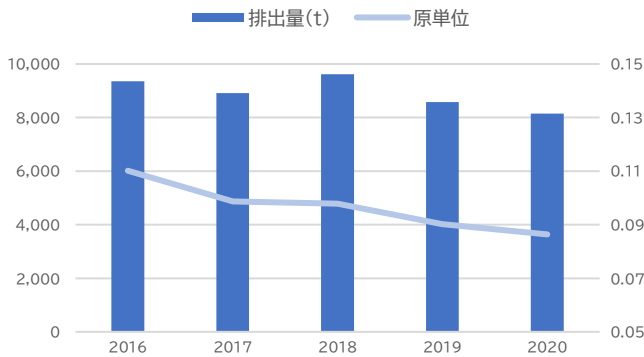
INPUT	2019年	2020年
エネルギー		
・電力	7,054 千kWh	6,884 千kWh
・LNG	2,191 千m3	1,963 千m3
原材料		
・原料	11,240 ton	12,827 ton
・容器包装	14,562 ton	12,348 ton
・取水量	972 千m3	914 千m3



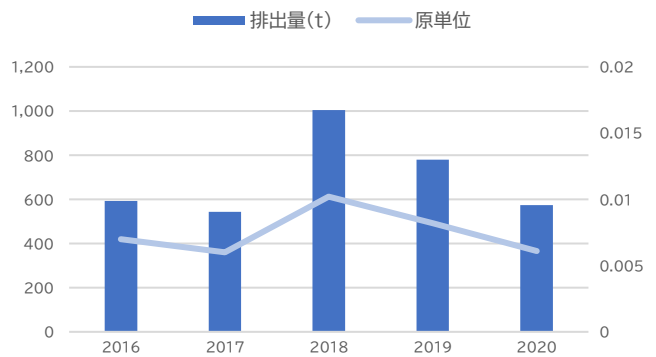
生産活動

OUTPUT	2019年	2020年
製品		
・飲料	106,784 ton	115,937 ton
大気		
・CO2	8,580 ton	8,145 ton
廃棄物		
・排出量	780 ton	574 ton

CO2排出量の削減



廃棄物の削減



廃棄物の分別回収、適切な処理、再資源化に努めています。3Rの推進を実施して循環型社会の構築に貢献してまいります。

設備の更新等

2016年	アシードブリュー	炭酸ライン(DBS、充填機、巻締機等)更新 (電気使用量を7%削減、LNG使用量を12%削減)
	製造2社	LED照明への切り替えを開始(宝積飲料ほぼ100%、アシードブリュー約25%)
2017年	宝積飲料	加熱殺菌・冷却工程でヒートポンプを活用し大幅な省エネを実現 (年間CO2排出量 従来比400t削減)
2018年	アシードブリュー	パウチライン新設(パウチラインの照明にLEDを100%使用)
2020年	アシードブリュー	炭酸ライン殺菌機、CIP装置更新 (電気使用量を16%削減、LNG使用量を24%削減)
2020年	宝積飲料	小型貫流ボイラー更新(3t×6基) (年間CO2排出量 17t削減見込)
2021年	宝積飲料	製品倉庫屋根に設置した太陽光パネルで発電した電力を、製造ラインの一部で使用 (年間CO2排出量144t削減見込)
2021年	アシードブリュー	コンプレッサーの高効率化(缶ラインの20%の電氣量削減)
2022年	アシードブリュー	工場全体の照明の60%をLED照明へ移行



新炭酸ライン



ヒートポンプ



高効率ボイラー



太陽光パネル